

# 易

五年

画数 8  
筆順 日 月 易 易  
オン イ・エキ  
クン やさしい

成り立ち



とかげの形を表した字。"とかげ"という意味の字でしたが、とかげは、まわりの色に合わせて、体の色をやさしく"変える"ことができるものですから、"やさしい"という意味と、"変える"という意味とを表す字として使われるようになりました。

「やさしい」こと。例 容易、平易、安易、簡易。

「変える」こと。例 交易、貿易、不易。

また、「うらない」の意味に使われます。例 易者。

「やさしい」意味の時はイと発音、その他はエキ。

「易」は「うらない」の書物の名前である。「自然と人生の「変化」の道理」を説いてある所から、「易」と言う。孔子が、晩年、易を愛読し、そのため、とじひもが三回も切れた、という話は有名である。」

使い方

▽わたしは、易しそうな問題から手をつけますが、兄は難しそうな問題から手をつけるそうです。どちらがよいでしょうか。

▽「言うことは易しいが、行うことは難しい」これは不易の真理だと思います。

熟語例

▽容易(易しいこと。容は「余裕がある」こと。楽々とできることです。)

▽平易(易しいこと。平は「平らでじやまになるものがない」こと。難しい所がないこと。)

▽安易(易しいと思つて安心すること。)

▽簡易(簡単に平易なこと。簡単にできて少しも難しくないこと。)

▽難易(難しいか易しいか、ということ。また、難しいことと易しいこと。)

▽不易(かわらないこと。不変)

▽交易(品物を交換するという意味で、品物を売ったり買ったたりすること。)

▽易者(うらない者。うらないをする人)

# 益

五年

画数 10  
筆順 ソレ 益 益  
オン エキ・ヤク  
クン

成り立ち



「皿」の形を表した「皿」という字の上に、横にした「水」という字がのつている形の字です。

皿の上に水が見えるということは、皿から水が「溢れ出る」ことを意味しています。「水が「溢れる」ことを表した字です。

「物が溢れるほどある」という意味から「もうかる」意味に使われるようになり、「得」「ためになる」などの意味にも使われ、「溢れる」という字は「益」に「シ」を加えて「溢」になりました。

使い方

▽わたしのおかあさんは、趣味と実益をかねたことをするのが好きです。趣味だけでは、損をするばかりだし、一方、利益ばかり考えたのでは味気ない、というのです。わたしは、おかあさんの考え方は、とてもいいと思います。

▽わたしは、大きくなったら、何か有益な仕事をしたと思います。社会にとつても、自分にとつても、有益な仕事ができたら幸せです。そのために、今から、しっかりと勉強しておくつもりです。

熟語例

▽実益(実際に利益になること。)

▽利益(得)。もうけ。また、役に立つことを言います。)

▽利益(「リヤク」と読む時は、特別な意味があります。これは仏教から来た言葉です。仏様が人々に与える恵み、功德のことをさします。「仏様の御利益で、命が助かった」などというふうに、つかいます。)

▽有益(利益が有ること。役に立つこと。例「無益」)

▽有益(利益が有ること。役に立つこと。例「無益」)